

新規就農者 Pick UP

FARMERS File 003

瑞穂町 井上 祐輔さん [てくてく農園]

東京都内で第7人目

新規就農者のリアルな

農業ライフをお届けします！



井上さんの
就農までの道のり

4 STEP

- 1985年：神奈川県で生まれる
- 2009年：農業栄養専門学校「鯉淵学園」入学、2年間農業を学ぶ
- 2011年：立川市の農家で1年間研修
- 2012年：研修先農家さんから農地の紹介を受けて瑞穂町で就農！

？就農のきっかけは？

「仕事」として農業を選んでみたかった！

①子供の頃、小さく農業をやっていた祖母が毎年お米を送ってくれていたこと、②中学校の修学旅行で岩手の農家さん宅に泊まりで農業体験したこと、③母からの友人から紹介された鯉淵学園のオープンキャンパスが思いのほか面白かったこと…この3つが決定打となりました。

？就農した後の感想は？

正直、想像してたより大変でした！



就農してからは記録的大雨や大雪がに見舞われて作付けなど畑がうまく回せないこともあったので、毎年なにかと失敗しています。ただ周りの方々が助けてくれることが多いので、人との出会いはとても恵まれていると思います。

自分でできる工夫として、ここ数年は出荷先によって同じ農産物でも品種をかえています。そうするとお客様に喜んでもらえるんです。



？今取り組んでいることは？

地域に密着した農業に取り組んでいます

▶農福連携プロジェクトに参画

畑にひまわりを咲かせて、そのあと採取した種でひまわりのオイルを仲間とともにつくっています。

▶農芸高校とのコラボ

唐辛子を生産して、地元の農産物でつくる「七色唐辛子」に参画しています。

▶JAから耕運の仕事を受託

大型特殊免許を取得しているので、畑の整備などの依頼があります。直接地主さんと畑で確認するのですが、いつの間にか身の上話になるんです。そのときに空き家や農地などを紹介してもらえることがあります。実は、新居を建てた土地も地主さんから購入した土地なんです。また、まちづくりの委員会や消防団に所属して、地域と関わるようにしています。

幸いにも就農を目指してからのご縁に恵まれていて、僕がこうやって農業ができるのも地元で頑張る先輩や最初に新規就農を実現した先駆者がいたからなんです。

農業はあらゆる方に感謝してもらえる仕事だということに気づきました。いつか農地を購入して、より地域に根を張って農業を楽しく続けたいです！

